

2013年4月23日

OK, my pc: 「目ん、こんにちは」の方が伝統的な語順

こんにちは、皆さん。私は、日本の7-11が提供している、安くて美味しいのはもちろん、商品の種類まで多くて、7-11に行くたびに嬉しくなる消費者の一人です。忙しい時だけではなく、本当に美味しくて、食べたくて、7-11に行つて食べたかったものを買って食べる時も多いです。いい商品を提供してくれる日本の7-11にいつも感謝していますよ。

5分ほど
ごちそう
している。

しかし、皆さん、知っていますか。日本の7-11が「新鮮なものを提供する」という本部の方針の下に、まだ食べられる商品を廃棄しているということ。ある資料によると、廃棄ロスは一店あたり13キロほど、全コンビニには毎日600トンで、一年にすると、コンビニにだけで何と22万トンも廃棄しているという計算になるのです。

これ、もったいないと思いませんか？消費期限を過ぎた物ではなく、消費期限の2時間前のまだ食べられる食べ物を捨てるのが正しいと思いませんか。世界的に飢餓が深刻な問題になっている今、そして、自給率が低い日本でこういう事が起こっているのを信じられますか。皆さんは、これでいいと思いませんか。7-11の本部はこのようなこと以外には、考えられないのでしょうか。もっといい方法を探すべきではないのでしょうか。

「新鮮な商品を提供する」という本部の方針は、私たち、消費者の立場からしても、求めていることだし、喜んでいきます。しかし、まだ食べられる商品を廃棄するのは、

歓迎しませんし、~~むしろ~~賛成できません。もし、7-11のブランドイメージを侵^{こわす}害~~する~~するのが心配で、値引きなどが出来ないのなら、寄付するのはどうですか。いつもではなくても、日を決めて寄付を^{れば}すると、7-11のブランドイメージを侵害しないだけではなく、^{より}（もっと）いいブランドイメージを^{得る}（持^つ）きっかけになるのではないのでしょうか。もちろん、廃棄ロス^をを減らす^{こと}も出来るし、食べられるものを捨てるというもったいない真似^めをしなくても^{よくなる}いいんじゃないんですか。消費者の皆さん、加盟店オーナーの皆さん、そして、7-11の本部の皆さん、どう思いますか。

学生 2

一人のセブンイレブン加盟店のオーナーとして、本部の方針を批判しなければならないことがある。それはセブンイレブンの食料廃棄の状況なのだ。なぜなら、加盟店が負う負担は非常に多い上に、本部は利益だけを求め、様々な厳しい命令を加盟店にだしている。本部は加盟店オーナーの立場からもビジネスを考え、援助金を増やすことに励んでほしい。加盟店のオーナーとしては、廃棄量を少なくするための食品リサイクル法には参加したくない。多額の再生利用料を負担するのは、本部ではなく、加盟店側にあるので、他の多くの加盟店参加に反対している。加盟店オーナーの視点から財政的に難しい状況を考えれば、参加を拒否する理由は無責任でも利己的でもない。個人的な意見を述べると、一番の問題はセブンイレブン本部の「新鮮なものを提供する」モットーである。必要以上に強調しているとしか思えない。客は新鮮な食料を求めよくセブンイレブンを訪れるのは事実だが、加盟店に、一日に9度、消費期限の近づいた食品を廃棄せよと指示する必要などない。この方針は非常に高額な無駄を作り出している。2010年の日本の全食料廃棄ロスは、086万トンだったが、コンビニの廃棄ロスは一店当たり13キロほどで、一年にすると、コンビニだけで何と約22万トンも廃棄しているのだ。これは環境にも悪影響を与えている上、経済的にも無責任でばかばかしい。というわけで、廃棄ロスの事を考えると、ビジネスモデルの変革を追求しないのはおかしい。